

勝浦市の国民健康保険事業の運営に関する協議会会議記録

1. 日 時 令和6年7月31日（水）午後1時30分から午後3時まで

2. 場 所 勝浦市役所4階401会議室

3. 出席委員

佐藤委員（会長）、池内委員、本城委員、長島委員、高梨委員、岩瀬委員、

事務局

渡邊市民課長、大野税務課長、宮川課長補佐収納係事務取扱、田中課長補佐健康管理係事務取扱、高梨事務長、山口課税係長、吉野国保年金係長

4. 会議次第

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 審議事項

（1）勝浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例（案）について

（2）令和5年度勝浦市国民健康保険特別会計（事業勘定）決算見込報告について

（3）令和5年度勝浦市国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）決算見込報告について

4. 閉会

○審議事項

（1）国民健康保険条例の一部を改正する条例（案）について

【事務局】

令和5年6月9日に公布された、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う国民健康保険法が本年12月2日から施行され、被保険者証が廃止されることから、国民健康保険条例の被保険者証に係る部分について改正するものです。

【会長】

説明が終了しましたので質疑をお受けいたします。

【委員】

罰則規定ってというのはどこの市町村もあるんですか。

【事務局】

これは法で定められているものですので、それに準じて条例を作成しているところはあると思います。

【委員】

マイナンバーカードは勝浦市では今どれくらい行き渡っているんですか。

【事務局】

累積になりますが、市民の約85%には発行されております。今発行している保険証、明日8月1日から使っていただく保険証は、来年の7月31日の有効期限まで使えます。

【会長】

令和5年度勝浦市国民健康保険特別会計事業勘定決算見込みについて説明が終わりました。質疑はありますか。

【委員】

2ページの1款の国民健康保険税、前年と比較して4,585万6,776円のマイナスと、5款の県支出金、4,256万8,153円の減収の原因を説明してください。

【事務局】

1款の国民健康保険税の減額は、被保険者数が減少したことに伴って調定額が下がったことが大きな要因です。

【事務局】

県支出金の県補助金が減額になった要因は、医療費に対する給付である保険給付費が5,351万7,263円減額となりましたので、保険給付費の補填分として県から支出される普通交付金が減額となったことが大きな要因です。

【委員】

令和5年度は財調を取り崩しながら単年度収支が赤字になっています。来年度の予算も含めて今後の見通しを伺いたいです。

【事務局】

千葉県も保険料率の県下統一を検討しているので、それに向けた保険税率の検討をしていかなければならない。今年度も財政調整基金を繰り入れた財政運営をしていかなければならない状況にあるので、適正な保険税率を見極め、国保事業が持続していくように検討していきます。

【委員】

保険税の収納率が上がっています。

【事務局】

収納率は上がっていますが、調定については厳しい状況にあります。被保険者の減少で調定が下がるの見込まれているので、今後の歳出を見込んだ協議を進めながら税率について検討していかなければと考えています。

【委員】

特定健診のことで、ブースによって並び方が違うので、統一について配慮をお願いできないでしょうか。

【事務局】

ご指摘を現場に伝えて来年以降の改善点で生かしていこうと思います。

【会長】

令和5年度勝浦市国民健康保険特別会計直営診療施設勘定決算見込みについて説明が終了しましたので、これより質疑をお受けいたします。

【委員】

1,000万以上収入が増えた要因をどのように分析していますか。

【事務局】

新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も、発熱患者の診察を行っていますので、その結果患者数が増加して、診療報酬と窓口負担が増額したことが要因と考えます。

【会長】

繰入金が700万円で、1,000万切ったことはすごいと思います。今後も安定した運営を期待します。